

様式第4号（第11項関係）

西脇市審議会等の会議の記録

審議会等の名称	令和7年度 第2回西脇市こどもプラザ運営委員会
開催日時	令和8年2月4日（水） 午後2時～3時30分
開催場所	西脇市茜が丘複合施設Miraie 会議室1
出席委員の氏名又は人数	10人
欠席委員の氏名又は人数	0人
出席職員の職・氏名又は人数	3人
公開・非公開の別	公開
非公開の理由	—
傍聴人の数	1人
議題又は協議事項	1 こどもプラザの利用状況について 2 令和8年度事業計画（案）について 3 こどもプラザキッズ・ジュニアサポーターについて 4 こどもプラザの運営について（意見交換）
会議の記録（概要）	
発言者	○開会
事務局	
会議の記録（概要）	
発信者	○会議成立の報告 委員10名の出席により委員会成立の報告 ○傍聴者の報告 1名傍聴の報告 ○議事
事務局	

委員長	<p>みらいえは、様々な世代の方が来館され集われている。この施設は日々「動いている」と感じた。</p> <p>今回の委員会は、今年度最後の委員会である。次年度に向け、各委員から忌憚のない意見をお願いします。</p> <p>議事1、こどもプラザの利用状況について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	○会議資料1に基づき、事務局から説明
委員長	<p>議事2、令和8年度事業計画（案）について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	○会議資料2に基づき、パワーポイントを使いながら事務局から説明
委員長	<p>令和8年度事業計画（案）について、何か意見はないか。</p>
委員	<p>事業計画案は、パワーポイントで分かりやすくまとめであり、知らなかった事業について知ることができた。自分の子どもは、まだ対象年齢ではないが、今後児童館事業にぜひ参加させたいと思った。</p> <p>1月25日に行われたこどもプラザフェスタについて、おやこ交流教室のお母さん有志ブースを出す提案が、職員からあり、私もそのメンバーとして参加した。こどもプラザのねらいとして、「お母さんのリーダーシップを支援する」という意図があることは理解しているが、どちらかと言えば消極的でお客様の参加するお母さんが多く、継続的に参加することができにくい状況であると感じる。以前は子育て新聞「ことのは」もお母さん達で分担して作っていた時期があったと聞くと、職場復帰の増加により、以前のように活動できなくなっている。</p> <p>今回のブース出店は「お母さんたちで自由にやっていますよ。」との説明があったが、参加したメンバーは具体的なやり方や役割分担が示されていないと動きにくく、準備にも人が集まらず、回ごとに参加者が入れ替わるため、活動が安定しない状況であった。</p> <p>来年度も、同じように実施するのであれば、職員の方</p>

事務局	<p>にもう少し具体的な方向付けや支援をしていただきたいという声がメンバー内で挙がった。たとえば、リーダーを1、2名程度決めて職員と連携しながら、お母さんたちがやりやすくなるように段取りや役割分担等の提示、部分的なサポートをしていただけたら、参加意欲が高まり準備もスムーズに進むのではないかと思う。テンプレートの作成までとは言わないが、参加しやすい環境づくりと、もう少し手厚いサポートを検討いただきたい。</p> <p>西脇おやこ交流教室は、お母さんたちがつながる場であり、育児力向上を目的としている。昨年度からこどもプラザキッズ・ジュニアサポーターが活躍しており、子どもたちの発想力や力がぐんぐん伸びていることを感じている。また、おやこ交流教室に登録されているお母さん方も、コーラス部を作られており、それぞれ素晴らしい力を持っておられる。</p> <p>これまで、職員が「親子が楽しめるようにどうすれば良いか」を考え、企画してきたが、今回教室のお母さん方の力をもっと生かしていただきたいという意図があり提案した。しかし、その伝え方が不十分で、頼みごとの形になってしまった点については大変申し訳なく反省する。</p>
委員長	<p>他の委員、意見はないか。</p>
委員	<p>多種多様な事業を実施されている。また、イベントや教室なども実施されており、素晴らしいことだと改めて実感した。</p> <p>キッズ・ジュニアサポーターの活動記録を見せてもらった。芳田小学校からも3人参加しているが、主体的に活動する場を作ってもらっていることをありがたく思う。</p> <p>学校でも体験活動を増やしているが、授業時間数などの関係で限界がある。このような活動の場があることで、様々な年代の方、高校生、大学生とつながることができる。</p> <p>事業計画案の中にある防災訓練についても良いことであると思う。近頃は町の行事なども縮小され、“とんど”なども実施されなくなり、子ども会の存続も困難な状況</p>

<p>委員長</p>	<p>にある。伝統行事を伝える機会も減っているため、こどもプラザが実施する事業は子どもたちにとって、とても大事なことだと思う。引き続き子どもたちが様々なことを体験できる事業を実施してもらいたい。</p> <p>他の委員、意見はあるか。</p>
<p>委員</p>	<p>10年から15年前と比べて、地域のつながりが薄くなっていると感じる。以前は子ども同士のトラブルが起きたとき「どこの家の子か」とすぐ分かり、親同士で直接謝罪や話し合いができる関係があったが、そのような関係性が減っている。子ども会などの地域活動が減少していることも影響しているのではないか。そのため、子どもが小さいうちから保護者同士のつながりを作る場があるということは、子どもにとっても非常に良いことだと考える。</p> <p>西脇市の出生率は減っており、今年度も160人ほどと聞く。一部の方だけが何度も参加するのではなく、広く多くの方に参加してほしい。</p> <p>最近では、海外から転入してくる外国籍の家庭も増えており、言葉の壁の問題から相談相手が少ないケースがある。今後、さらに多様な家庭が増えることを考えると、外国籍の保護者が参加しやすい仕組みや情報提供を検討してほしい。</p>
<p>委員長</p>	<p>他の委員意見はないか。</p>
<p>委員</p>	<p>こども園に通園する園児は、低年齢の子どもたちが増えてきていると感じる。こども園に預けている保護者同士がどのようにつながっていくと良いのか、こども園としても悩ましい課題である。親同士のつながりを作るために、親子の交流の場をできるだけ作ろうと模索しているが難しい状況だ。</p> <p>こども園では、5歳児の保護者が中心となった保護者会が、自主的に行事の企画運営をしている。職員は準備物や工作道具などの要望が出ると対応している。職員が全部手取り足取りやるのではなく、職員は補助的にかかわり、保護者の「やりたい」を引き出すことが大切だと</p>

	<p>思う。</p> <p>若いお母さんたちは、働いている方が多く参加が難しいと思われるが、呼びかければ時間を作って来てくれる方は多いのではないか。この経験をした方が、今後PTAなどでも活躍されるのではないか。</p> <p>こどもプラザが実施している事業の中で、出張こどもプラザやみんなのつどいがある。このような外部からこども園に入って遊びを提供してもらうことで、園内ではできない刺激や体験を子どもたちはできる。また、保育教諭にとっても新たな保育のヒントとなる。今後も連携を深めていけるよう、市内のこども園にも声をかけていく必要があると考える。</p>
委員長	他に意見はないか。
委員	児童館の年齢区分について聞きたい。以前は18歳までとなっていたと思うが、なぜ20歳までに引き上げられているのか。
事務局	児童館の年齢区分について、従来は0歳から18歳までを「児童」として受け入れていた。しかし、18歳で高校を卒業した若者が、社会などの関係機関と関わりが途切れてしまうことが課題だと考える。これを受け、こどもプラザでも対象年齢を広げている。こどもプラザで過ごした若者が、その後も支援者や利用者としてこどもプラザを来館してくれるよう、継続的なつながりを保てる場づくりを行っていきたいと考える。
委員長	<p>子ども基本法には年齢の定義がある。法律上では18歳、19歳、20歳といった年齢区分が扱われているが、最近では年齢の捉え方が徐々に変わっている。</p> <p>続いて、議事3、こどもプラザキッズ・ジュニアサポーターについて説明をお願いします。</p>
事務局	議事3について、パワーポイントで説明。
委員長	議事3、議事4 こどもプラザの運営について、委員から意見はないか。

委員	<p>説明を聞き改めてたくさんのお事業があり、高校生から保育園児までいる我が家の子どもたちもお世話になっていることを実感した。</p> <p>私も上の子が小さい頃からこどもプラザの皆さんに支えていただき、困ったときは職員の方に相談したり、同じ子育てをしている保護者の方々にも助けられながらここまでできた。その時のことを思い出し、改めて感謝の気持ちでいっぱいだ。</p> <p>現在、キッズ・ジュニアサポーターに我が子が参加している。子どもはいつも良い顔で帰ってきて活動したことを楽しそうに話してくれる。高校生との交流も、小学生にとって貴重な経験になっているようで、将来、我が子が地域に育てられたという意識を持ち続けてくれればと願う。</p> <p>わくわく工作では、各地区でも実施されて素晴らしいと思う。子どもが少ない地区でもこのような活動が続けられることを期待する。また、来年度の事業計画案にあった防災教育について、子どもたちの興味を引く形で伝えていただければ防災の意識の幅が広がると思う。</p> <p>一つ懸念していることがある。部活動が地域展開される。それに伴い放課後、みらいえを利用する子が増えることが予想される。そうになると新たなルールや対応が必要になってくるのではないかと思う。子どもたちが安心して安全に遊ぶことができる場であるよう、職員だけでなく、保護者も気を配っていく必要があると考える。</p>
委員長	他に意見はないか。
委員	<p>こどもプラザでは、子どもたちの意見をしっかりと聴きそれを実践している。こどもプラザのお事業は、限られた人数の職員でありながら、多彩で工夫に富んだ活動を展開しており素晴らしいと思う。</p> <p>私自身は、社会福祉協議会の立場に関わっており、日ごろは困りごとを抱える方や、ヤングケアラーなどの社会課題と向き合うことが多いが、こうした前向きな取組が行われていることは大変心強く感じる。</p> <p>また、社会人になっている息子が幼いころに知り合ったお母さん方との交流がある。そこで築かれた人間関係</p>

<p>委員長</p>	<p>は子どもにとっての財産であるとともに、保護者にとっても大切なつながりである。こどもプラザの事業が、今後も人と人とのつながりに貢献していくことを期待している。</p>
<p>委員</p>	<p>他に意見はないか。</p> <p>みらいえには、我が子がお世話になっており、保護者として大変感謝している。私自身仕事をしているため放課後の子どもの様子が分からないことが多いが、今日何をしていたかと尋ねると「みらいえに行っていた。」と聞くだけで安心感を得る。それぐらい、みらいえは安心して過ごせる場所だと実感している。</p> <p>提案だが、この素晴らしい施設を生かして、複数の学校が集まり交流するような活動があっても良いのでないかと思う。特に、数年後は芳田小学校と重春小学校が統合されることもあり、自然学校など一緒に行くことはあるかもしれないが、学年ごとの生活科や総合的な学習の時間に、特別な目的を設定せずとも、一緒に過ごす機会を少しずつ設けることで、学校同士の距離を縮めていけるのではないかと考える。検討していただきたい。</p>
<p>委員長</p>	<p>他の委員意見はないか。</p>
<p>委員</p>	<p>みなみ会では、子どもたちの見守りと学習支援に携わっている。主な内容は子どもたちの様子を見守りながら声をかけたり、宿題や勉強に誘ったりしているが、勉強に集中する子は少なく、ゲームなどで遊んでいる時間が長いのが現状である。みらいえに来たのなら、「ぜひここで勉強してほしい。」と促しているが、遊ぶことを優先する子が多い。遊ぶこと自体は大切な経験であるので「おもいきり遊んでから勉強しようね。」と声をかけている。</p> <p>みなみ会は、元教師を中心に、勉強以外の活動も検討し、スタッフが思いを持って関わっている。私もこの地区に住んでいるが、近所に住む子どもたちは、休みの日はどこかへ出かける子もいるため、休日は遠方から来ている方が多い。たくさんの方に来てもらいたいと思う。</p>

委員長	他に意見はないか。
委員	<p>今回、キッズ・ジュニアサポーターについて話を聞き自分たちがやりたいことを見つけ、話し合ったり説明したりする一連の過程自体が、とても重要で価値のある経験だと感じた。イベントを成功させることは大切だが、参加しそのプロセスを経験すること自体が大きな意味をもつと思った。また、家庭でもなく学校でもない、こどもプラザのような居場所があることの重要性を、改めて感じた。</p> <p>私自身、西脇こども会議に何年か参加しており、こどもプラザに設置されている、子どもたちの意見をまとめた掲示も見た。西脇市には子どもが自由に発言し活動できる場が多く用意されていると感じ、素晴らしいことだと思う。今後もメンバーが増え、規模が拡大していけばより素晴らしいと思う。</p> <p>大学在学中、神戸市のインターンシップに参加し、街づくりについて意見交換する機会があった。みらいえを紹介したところ、神戸市の職員の方々が、とても関心を示され、ぜひ取り入れてみたいと言っておられた。老若男女問わず集える施設は、近隣では多くないのだと感じた。今後も、この施設の特徴である多世代が集う力を生かしたイベントを実施してほしい。</p>
委員長	<p>こどもプラザの取組を拝見し、他市町にはない良さがあると感じる。イベントだけでなく、日常的にいろいろな世代の方が集える場であることが、この場所の大きな魅力だと思う。今後も様々な仕掛けを作してほしい。期待している。</p> <p>各委員からいただいた意見を、今後の施策に反映していくようお願いする。</p> <p>○議事終了</p>
事務局	<p>委員の皆様から、多くの貴重なご意見をいただいた。今後の事業運営に反映していきたいと思う。</p> <p>議事録については、要点をまとめ、ホームページなどで公開予定である。</p>

	<p>各委員には令和6年8月よりこどもプラザ運営委員会委員を務めていただいた。任期は令和8年7月末をもって満了となる。在任中の運営委員会は、本日が最後となる。各委員からの意見や助言から、職員だけでは気づかない点を多く教えていただいた。いただいた意見を参考にし、常に子どもの最善の利益を考え、こどもプラザが子どもや保護者にとって、安全で安心して過ごせる場となるよう今後も尽力していく。</p> <p>○閉会</p>
問合せ先	<p>西脇市福祉部 はびいくサポートセンター こどもプラザ TEL 0795-25-2801 / FAX 0795-25-2220</p>